

帯広市文化奨励賞
帯広市功労者

昭和五十二年度
受賞者紹介

帯 広 市
帯広市教育委員会

帯広市文化奨励賞



関 口 哲 也

- 1、帯広・十勝の写真技術の向上をはかるほか、各種カメラ・サークルの育成に指導的役割を果たすなど、本市の芸術文化振興に寄与した功績は大である。
- 2、北国の風土と生活を習練された技術により表現した写真を全国主要都市において紹介したほか、国際的な写真展に出品入選する等その業績は顕著なものがある。

<参考>

- 1、国際写真サロン（33カ国参加）に連続入選
（昭和37、38、41年）
- 2、全日本観光写真コンクールで運輸大臣賞受賞
- 3、国立公園写真コンクールで厚生大臣賞受賞（昭和35年）
- 4、第1回帯広市民劇場賞受賞（昭和51年）
- 5、写真集「道東の風雪」を出版（昭和52年）
- 6、日本写真家協会々員
- 7、日本山岳写真協会々員
- 8、カメラ同人「帯広麓草社」会員
- 9、市政要覧・市民文芸の表紙・グラビアの写真製作



添 田 誠 司

- 1、永年古文書の研究調査につとめ、帯広・十勝における解読の権威者であり、特に漢籍に関する豊富な知識は高く評価されている。
- 2、学校教育を通じて学校書道の振興の礎をきづき、昭和24年より全日本学生書道審査員として多くの子弟を育てるなど本市書道界に貢献した業績は大きい。

<参考>

- 1、奎星会（全国的書道団体）客員
- 2、全日本学生書道審査員
- 3、「日本書道史概説」「論語小譜」「漢文学の研究」等の論文・小論を発表
- 4、日本書道教育連盟審査員
- 5、日本書道美術館参与



榊 原 梅 子

- 1、日本画個有の研究をすゝめ、本市における数少ない指導者としてグループ育成に情熱をかたむけ、多くの後進の指導に努めるなど、日本画の普及向上に寄与した功績は大きい。
- 2、昭和39年に道展に入選、以来11年間連続入選の功績を果すなどその努力は関係者の間で高く評価されている。

<参考>

- 1、道展初入選（昭和39年）
- 2、道展出品作「木槿（もくげ）」で朝日新聞社賞受賞
（昭和40年）
- 3、萌木会々員